

# 雑がみを分別しよう！

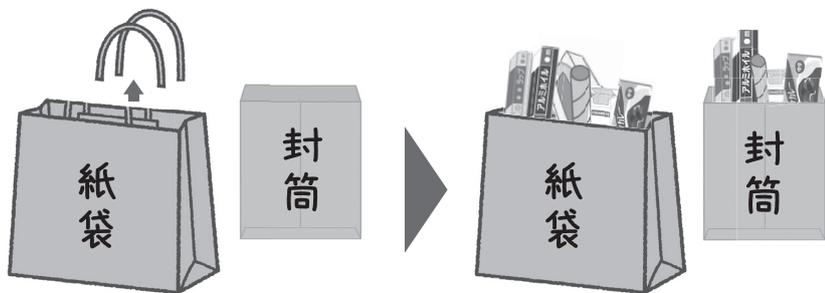
紙類（雑がみ）を燃やせるごみとして出していないですか？  
分別することで「無料回収」となり、燃やせるごみ袋の節約にもなります！



燃やせるごみ袋に入れず資源ごみにすると、こんなメリットが!!  
→燃やせるごみの量が減り、ごみ袋代が節約されます。  
→資源としてリサイクルされます（ダンボール等に生まれ変わる）。

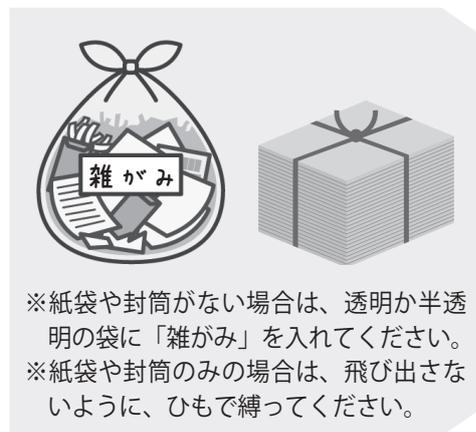


## ■雑がみの出し方について ※詳しくは、ごみガイドブックのP12～14をご覧ください。



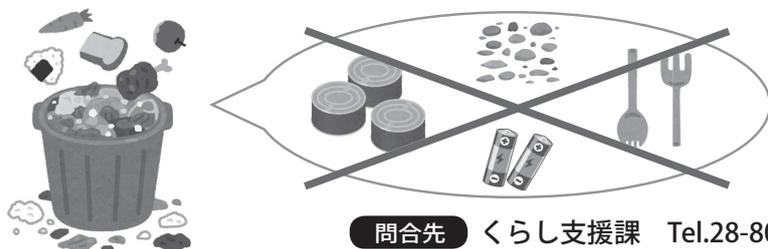
①紙袋や封筒を用意する（持ち手が紙製でない場合は、取り除いてください）。  
※紙製の場合はそのままでも可

②紙袋や封筒に「雑がみ」を入れる。  
※資源ごみの日（各地区月1回）に出してください。



## 生ごみの分別を徹底しましょう！

近年、生ごみの中に異物（スプーン・フォーク・缶詰の缶・電池・石など）が混入している事案が多く発生しています。異物の混入により生ごみ処理施設の破碎選別機が故障すると、最悪の場合、生ごみの収集ができなくなりますので、生ごみの分別を徹底しましょう！



※主な異物の「スプーン・フォーク・缶詰の缶・石」などは燃やせないごみ、「電池」は特定品目として分別しましょう！

問合せ 暮らし支援課 Tel.28-8013